



2025年9月30日

各 位

会 社 名 株式会社ADR120S  
代表者名 代表取締役社長 橋本 征道  
(コード：3750 東証スタンダード)  
問合せ先 経営企画部長 藤村 剛  
(TEL. 03-6261-9067)

### 高濃度エクソソーム成分含有液の生成方法に関する独占的実施契約の締結 及び当該技術を用いた事業展開の決定に関するお知らせ

当社は、株式会社Meis Technology（愛知県名古屋市中区錦3-3-22、代表取締役 山本徳則）（以下「Meis社」といいます。）及び株式会社バイオラボ（鹿児島県奄美市名瀬長浜町9-4、代表取締役 高木惣一）（以下「バイオラボ社」といいます。）との間で、高濃度エクソソーム成分含有液の生成方法に関する独占的実施契約を締結しました。

また、本日開催の当社取締役会において、当該独占的実施契約による高濃度エクソソーム成分含有液の生成方法に関する技術を用いた事業（以下「CrymEX事業」といいます。）を新たに立ち上げ、推進することを決議しましたので、お知らせいたします。

当社グループは、メディカル事業において、子会社のADRセラピューティクス株式会社を中心に、細胞治療サービスの提供、脂肪組織由来再生（幹）細胞（Adipose-Derived Regenerative Cells；ADRCs）を用いた細胞治療の研究、医療機器の製造・輸出入・販売を展開しております。また、子会社の株式会社アニマルセラピーでは、当社グループが蓄積した細胞治療に関する知見・ノウハウを活かし、イヌやネコなどの伴侶動物、畜産動物、競争馬等、動物を対象とした細胞治療サービス事業を展開しております。

今般、Meis社及びバイオラボ社が共同開発した幹細胞から高濃度のエクソソーム成分含有液を抽出する独自技術について、その特許（特許番号：特許第7731537号）の独占的な実施許諾権を当社が得ることにつき、契約を締結いたしました。

Meis社及びバイオラボ社が共同開発した独自技術は、脂肪や臍帯等から取り出した幹細胞を凍結・融解、破碎、攪拌、振動等の工程を経ることで、幹細胞の中から直接的に高濃度のエクソソーム成分含有液を獲得する方法です。

当該技術を用いて抽出した高濃度エクソソーム成分含有液は、Meis社が実施した試験において、非常に高い抗炎症作用や組織修復作用が確認されており、関節痛や疼痛治療といった医療、また美容の領域において、広範かつ効果的な活用方法が期待されます。

当社では、独占的実施権を獲得した当該技術を用いて、各種疾患に対する研究開発事業を開始すること、また、当該事業を「CrymEX 事業」と称し、経営資源を投下することを決定しました。当社は、従来より継続して進めている脂肪組織由来再生（幹）細胞（ADRCs）を用いた事業では、保険適用も視野に入れた重篤な疾患を対象とした治療法の研究開発を主とし、CrymEX 事業では、簡便かつ低価格を実現し、地域医療や予防医療と連携するなど、より身近な再生医療を目指すこととしております。

なお、CrymEX 事業の推進にあたり、CrymEX 事業の礎となる技術の開発を主導された Meis 社の代表取締役である山本徳則氏（医師）を当社子会社である ADR セラピューティクス株式会社の取締役兼 CrymEX 事業責任者として、生成技術及び量産体制の構築に深く関与してこられたバイオラボ社の代表取締役である高木惣一氏を当社メディカル事業部の技術顧問として招聘し、事業展開の要となる実装技術及び製品開発プロセス全体の監修を担当していただく予定です。両名の専門的知見と現場経験を活かし、臨床応用・製造体制・品質保証の各面において強固な基盤を構築いたします。

本件を機に、当社のメディカル事業は新たなステージに移行いたします。難治性疾患の克服と、有効な治療へ誰もがアクセスできる環境の整備を目指してまいります。

なお、本件による当連結事業年度の業績への影響は現在精査中であり、今後開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

#### 注) エクソソーム (Exosome)

エクソソームは、細胞から分泌される直径 50-150nm（ナノメートル：10 億分の 1 メートル）の顆粒状の物質で、その表面は細胞膜由来の脂質、タンパク質を含み、内部には核酸（マイクロ RNA、メッセンジャー RNA、DNA など）やタンパク質など細胞内の物質を含んでおり、細胞間の情報伝達を担うと言われております。現在、免疫、神経、癌、内分泌、循環器など様々な領域においてエクソソームの研究が進められており、医療現場での有効活用が期待されております。

#### 株式会社 Meis Technology について

Meis Technology は、名古屋大学、岐阜大学、岐阜県畜産研究所の研究成果を臨床・獣医療に応用するため、2019 年に設立されました。間葉系幹細胞濾過液を活用し、人の生殖医療や泌尿器医療、獣医療、家畜産業に向けた製品の研究開発・製造・販売を進めています。

<https://www.meistechnology.co.jp/>

### 株式会社バイオラボについて

バイオラボは、再生医療の領域で長年研究開発活動を行ってきたメンバーによって 2023 年に設立されました。研究開発型のバイオ企業ですが、他の技術領域と連携を図りながら、長期スパンで特にイノベーティブなヘルステックの研究開発に取り組むとともに、技術の社会実装にこだわり、特にアグリ・フードテックの領域では、社会実装拠点を設けて、自ら循環型エコ生産システムの構築を目指しています。

以 上